

近世人物誌

やまの新聞附録

河瀬某の妻
河瀬某、江州膳所藩の藩士に
て、夙に才名あり、文學に通じ
武事も習ひ、殊に慷慨はて
憂世の志あり、文久慶應
の際、尊王攘夷の説盛行し、興り
志士勃興し、天下騷擾す
慶應元年五月、長藩遣を幕
府より得たり、將軍家茂自ら
長藩を征せんとす、其の進發
の期に當り、河瀬の同志數十名
と長藩の幸なきを論じ、其の
曲直を申明せんと欲す、言訟せ
られずして、幕府の縛する所
となる、河瀬の妻、年少く安
貞美り、固より賢夫人の
聞えあり、幕府の図固より下り
行々裁せられんとするを悲
しみ、自ら自ら双ふ伏し、死
せりとぞん



芳山 五
[Red Seal]

發行所 東京 京橋区 本町二丁目 番地 21
やまの新聞社
編輯 林 潤 依 二

河瀬某の妻 18号 文庫10-8617-18

早稲田大学図書館蔵 / Waseda University Library

